

今年度の研究の成果や課題を生かし、更なる指導力の向上を図るとともに、児童生徒の「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」に係る資質・能力を育成するため、第3期研究会が今年度の研究指定校で行われました。活動(1)の様子について一部紹介します。

1年生の話合い活動の様子



2年生の話合い活動の様子



3年生の話合い活動の様子



- 楽しい学級生活をつくるために、**児童が役割を分担**し、自分の考えを話すだけでなく、**お互いの考えを聞き合う**ことができていた。
- 教師が学級会の状況をよく見て、**問いかけや進行整理等**の指導助言を**適切なタイミング**で行うことで、司会の児童が円滑に話合い活動を進めることができていた。

4年生の話合い活動の様子



5年生の話合い活動の様子



6年生の話合い活動の様子



- 児童同士の意見がつながり、友達の意見に**理由を添えて自分の考えを付け加えたり**、**疑問点や不安な点を話したり**することができていた。
- 事前の**適切な教師の指導助言**により、児童が**話合いの流れや考えを可視化、構造化**しており、円滑に話合い活動を進めたり、考えを深めたりすることができていた。

1年生の話合い活動の様子



2年生の話合い活動の様子



- 「明日もっとやってみたいことがある学級・学校」の実現をキーワードとして、**生徒が様々な意見を出し合ったり、意見を比べたり**しながら話合いを進めることができていた。
- 学級活動を重ねることで日常的に生徒主体で話合い活動を進めることができるようになり、教師が安心して話合い活動を見守ることができていた。



児童生徒の声【児童生徒アンケートより（上段：小学校、下段：中学校）】

学級会をして、勉強になったことや自分の成長につながったことは何ですか？

- 自分たちで最後まで決めることができたから、**自信**につながった。
- 発表は苦手だったけど、今は、**自分から意見や提案が言える**ようになった。
- 学級のみんなが発表を聞いてくれるので、**発表がしやすくなった**。
- みんなの考えをまとめることは、こんなにも難しいことなのだ**と実感した**。
- 相手が言いたいことを理解したり、自分の考えと比べて発表したりしたら、**学級がよくなる**ことが分かった。



- 異なる意見について考えることで、**自分の視野を広げることができた**。
- 自分の**考えをしっかりとめる**ようになり、**学級全体の場でも発言**できるようになった。
- 黒板へのまとめ方**（文字の大きさ、分かりやすくなるような工夫等）が分かった。
- 学級会以外の授業でも、**相手のことも考えて自分の意見を発言する力がついた**ように感じる。
- 自分だけでは思いつかなくても、**学級全員で話すことによって新しい考えを創り出す**ことができると分かった。



あなたが思う学級会のよさは何ですか？

- お互いの考えを分かり合うから、**学級や学校みんなとの仲が深まる**こと。
- 相手の意見を**真剣に聞きながら、自分の意見を言うことの大切さ**に気付くこと。
- 折り合いをつけたり、自分や周りのことを考えて行動したり**できるようになること。
- 自分が思いついていなかったことを、友達が言ってくれて、**新しい考えを学べる**こと。
- 協力の大事さを感じて、**みんなが相手の気持ちをより考える**ようになること。



- 相手の意見をしっかりと聞くことで、**自分の考えがよりよくなる**こと。
- 自分の意見と違う他の人の意見について考えられるようになり、**理解を深め合える**こと。
- 多くの考えを発表し合うことができ、**共通点を探し出す力やまとめる力が身に付く**こと。
- 自分だけではなく、**学級や学校みんなのことを考える**ようになること。
- 学級の仲間の考え方や自分が思いつかない新しい提案を聞くことで、**刺激を受けて成長できる**こと。



教職員の声【教職員アンケートより】

OUR徳島特活小中連携いきいき事業を終えて、どのような成果がありましたか？

- 児童生徒に**自主的な話し合い活動をする力**がついたように感じる。
- 話し合ったことを実践する経験を積み重ねることで、**児童生徒間の交流**が増えた。
- 学級会や他の授業で**相手の意見を聞いて、質問する力**がついた。
- 司会の児童が、発表の苦手の児童の**考えていることや思っていることを聞こうとする場面**が見られる。
- 信頼して任せてもらう経験をする中で、**これまで以上に主体的に活動する児童生徒**が増えている。
- 思いやりのある他者への言動**が、4月と比べて明らかに増えている。
- 児童生徒同士の仲が深まり、**今まで以上に意見や気持ちを安心して伝え合う**ことができていると感じる。
- 一人一役が児童生徒の自信になり、それぞれが考えた案を出すとともに、**考えを聞いてよりよく修正できる力**がついてきたように感じる。
- 学級会を行うことの大切さを再認識し、**学級会を開くまでの事前指導の重要性を学ぶ**ことができた。
- ホワイトボードミーティングの手法を用いた話し合いでも**相手の考えを受容する雰囲気で行える場面**が増えた。

OUR徳島特活小中連携いきいき事業で学んだことを生かし、今後どのように取り組みますか？

- どこの勤務地に行っても、**特別活動を生かした学級や学校をつくって**いきたい。
- 「自分だけではなく、みんなもよい」という視点で物事を考えられる児童生徒の育成**を行っていきたい。
- 児童生徒が主体となって話し合えるような環境づくり**を、今以上に行っていきたい。
- 児童だけで**合意形成できるように支援や手立て**をしっかりと考えて、児童をさらに**信じて任せて**みたい。
- 目指す児童の姿を明確にし、全教職員で共通理解して、**学校全体で取り組んで**いきたい。
- 生徒の声にしっかりと耳を傾けて、**教職員の力を合わせて指導や支援**を行っていきたい。
- 引き続き生徒同士の対話を大事にし、**主体的に活動できるような取組**をしていきたい。
- 継続的に特別活動を行うとともに、さらに**よりよくブラッシュアップ**していきたい。